



スクールリポート

SCHOOL REPORT 66

学校生活の
一コマを紹介

今回は、小学校での「ひだまり組活動」と中学校での「立志歩行」の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局 3679

堀切小学校「ひだまり組活動」

お年寄りの知恵や工夫に学ぶ

堀切小学校では、地域のお年寄りから学ぶ活動「ひだまり組活動」を実施しています。低学年と中学年は昔の遊び、5年生は餅つき、6年生は地域の史跡を巡る「ふるさと探訪」を中心として、子どもたちがお年寄りの知恵や工夫にふれる機会としています。

昨年12月4日(水)、5年生は自分たちで苗を植え(5月)、刈り取り(9月)をした餅米を使って餅つきに挑戦しました。当日は、校区のお年寄り約20名が参加。子どもたちは、杵の扱い方の指導を受け、初めての子も楽しく餅をつくことができました。出来上がったのは、「あんこ餅」「きなこ餅」「大根おろし餅」「みたらし餅」「キムチ餅」の5種類です。1年生から6年生の各学級につきたての餅が配られました。どの餅もおいしく出来上がりましたが、特に目新しい「みたらし餅」と「キムチ餅」が好評でした。

地域のお年寄りとの会話やふれあいなど、普段、教室の中ではできない貴重な体験を通して、子どもたちの笑顔があふれた一日でした。

●お手本をまねて杵を振るいます



●つきたての餅の味は最高です



●日出の石門から、みんなで日の出を見ました



●班ごとに協力し合いながら次の目的地へ



東部中学校「立志歩行」

仲間と歩んだ大人への第一歩

東部中学校では、7年前から毎年2年生が立志歩行を行っています。伊良湖岬から学校までの約38kmの道のりを、それぞれ班に分かれ、メンバーと励まし合いながら歩きます。

今年は、1月16日(木)に行いました。学校に集合した早朝5時には、西の空に満月を見ることができました。バスで伊良湖岬まで行き、恋路ヶ浜で出発式を行ってからスタート。途中、日出の石門で日の出を見たり、赤羽根口コステーションでお弁当を食べたりしました。歩行後半、学校が近づくにつれて足の痛みは増してきましたが、友だちと声を掛け合いながら歩き続け、頑張ってゴールすることができました。生徒たちからは、「立志歩行を通して友だちの大切さを知った」「38kmの道のりの壁を乗り越えることができたので、これからはあきらめそうになることがあっても立志を思い出して頑張りたい」といった感想が聞かれました。この歩行が、生徒にとって大人になるための一歩となることを期待します。